

鳥羽市・サンタバーバラ市
中学生派遣・招致事業

ホームステイ 体験記

市民課人権・市民交流係 TEL 25-1126



市内の中学生4人が7月24日～8月4日にかけて姉妹都市アメリカ・カリフォルニア州サンタバーバラ市を訪れ、8月6日～16日にはそれぞれの家庭がサンタバーバラ市の中学生を受け入れました。

中学生のみなさんにホームステイ先での体験や受入れをして感じたことについて感想をいただきました。

私の一生の思い出

鳥羽東中学校3年 澤田 陽菜香

私はこの派遣事業が決まるとすぐにソフィーと連絡を取りました。ソフィーは音楽が好きだといっていて私と共通点がありとても嬉しかったです。

アメリカに着いてバスから降りるとサンタバーバラのみんなが迎えに来てくれました。私はサンタバーバラへ行く前から言葉の壁があったり、私が見知りなのでソフィーと仲良くなれるか不安でした。

しかし、車で音楽の話でとても盛り上がり、不安が一気になくなりました。また、ソフィーのお父さんは日本に少し住んでいたため、日本語を少し話せてとても助かりました。

私が一番楽しかったのは、シーセンターという水族館とフィエスタです。シーセンター

僕にとっては、言葉や人種の壁を乗り越えることができる、かけがえないホームステイの経験でした。



サンタバーバラでの最高の思い出

加茂中学校1年 木田 楠陽呂

僕が今回の交換派遣事業に参加したきっかけは、僕の家族や知人にサンタバーバラへ行ったことのある人がたくさんいたからです。サンタバーバラでの経験や街の素晴らしい景色を聞く中で、「自分でも経験したい」「自分の目でも見てみたい」という気持ちが高まり、勇気を出して応募しました。

実際に参加が決まった時、嬉しい気持ちと少し不安な気持ちがありました。今回が初めての海外だったからです。けれど、サンタバーバラに到着し、交換留学生のリアムとホストファミリーであるヘザー



では、ヒトデやエイに触れたり、お土産屋さんで、お土産を買ったりしました。ソフィーのお父さんがソフィーとお揃いのサメのペンを買ってくれて嬉しかったです。その後に、アイスを食べながら日本の写真やアメリカの写真を見せ合いました。たくさん話してたくさん質問し合っ

て楽しかったです。

フィエスタでは、卵を割ったり、スプレーで遊びました。日本とは違う遊びでもとても楽しかったです。パレードもありサンタバーバラの伝統を感じることでできてよかったです。

私は人見知りで色んな場面でもホストファミリーに迷惑かけることが多かったと思うけど、それでも私を家族みたいに接してくれ、優しく楽しませてくれてとても嬉しかったです。サンタバーバラは良い人ばかりで、とてもいい街だなと思いました。このプログラムでサンタバーバラという素敵な街と私のもう一つの家族に出会えてとてもよ

んで見たサンタバーバラの街は、とても綺麗で一生忘れな

いと思います。

僕は少し勇気を出して、この事業に応募して、本当に良かったと思っています。これまでは、野球以外のことにほとんど時間をかけてこなかったけれど、サンタバーバラに行ったことで野球以外の選択肢が広がったと思います。これからは色々な事に積極的に参加したいと思うようになりました。そして、リアムというこれからずっと繋がっていたいと思える友達にも出会えました。

このような機会を与えてくれた家族やこの事業に関わる全ての人に感謝しています。今度は自分が身近な人にサンタバーバラと交換派遣事業の魅力を伝えていきたいと思います。

心に残った思い出

鳥羽東中学校2年 宮本 尊音

元々すごく内気だった私が何故参加しようと思ったかという、以前同じ事業に参加したお兄ちゃんとお姉ちゃんがいたからです。この事業をきっかけに、今年の6月にも改めて家族で鳥羽に遊びに来てくれたり、家族ぐるみで交流が続いていて、私もこんな

かったと思います。鳥羽市のみなさん、そして家族に感謝したいです。これは一生の思い出です!!

サンタバーバラ滞在日記

鳥羽東中学校2年 中村 悠慈

今回、アメリカ・サンタバーバラ市への異文化交流の相互派遣が正式に決まった時は驚きと同時に少し不安でしたが、現地に到着した瞬間にホストファミリーが温かく迎え入れて下さり、アメリカでの初日からワクワク感が満載のスタートとなりました。

ホストファミリーだけでなく、フレンドリーないろんな人がたがとも最初のウェルカムパーティーで一緒に、すぐに打ち解けることができ、多くのかたがたとの交流を楽しむことが出来ました。

タコスだけは少し苦手でしたが、日本では普段食べたことがないほかのメニューもたくさんあり、心も胃袋も満たされた「心地よいウェルカム」を感じる1日となりました。

特に印象に残ったことは、ホストファミリーやフレンドリーなかたがたの温かなおもてなしです。

ほかに鳥羽には無いアメリカで1番景色の良い場所へ

素敵な出会いをしたいと強く思いました。

サンタバーバラでは、ホームステイ先のエラとエラの両親と妹、そして犬のクーパーがとても温かく迎え入れてくれて10日間があつという間に過ぎていきました。何種類もの蝶が目の前を舞っている博物館に行ったり、海でカヌーをしたり、伝統的な染物や陶芸を体験したり、サンタバーバラでしか味わえない素晴らしい思い出がたくさんできました。

だけど、私の中に色濃く残っている出来事は、犬の散歩中の何気ない会話や家でレモネードを作ったこと、レストランで注文に困っている私に優しく教えてくれたエラとの特別ではない日々でした。それは全てにエラの小さく積み重なった優しさがあり、何事にも不慣れな私でも充実した日々を過ごすことができ、帰国する時は自分でも驚くぐらい泣いてしまいました。

日本に迎え入れてからは、私はサンタバーバラでもらった優しさを返せるように頑張るつもりでしたが、エラはとても賢く優しく、私は彼女の優しさに救われることの方がたくさんありました。1番大きい出来事は私の地元のお寺で毎年行われる大念仏の日のこ



行ったときの自転車専用道路は「さすが、アメリカ!」と感じるスケール感でした。

そして鳥羽では体験できない大爆音：バンデンバグ宇宙空軍基地から打ち上げられたロケットの発射の様子は映画を見ているような迫力もあり、特にその強い音はすごくて、貴重な経験となりました。

人生は思った通りではなく、行動した通りになるということ。「こうなれたらいいな」と願っているだけでは、何も変わりませんが、母や祖母の強い後押しがあり、今回不安もありましたが小さくても一歩を踏み出して本当に良かったです。

未来を変えたければ、考えるより先に動くことが大切と母から教えられ、その言葉もあり今回の行動が、願いを「現実」にしてくれました。

アメリカでのホームステイ&旅行、現地で初のドキドキしながらの英語での会話、そして鳥羽でホストファミリーとしての挑戦……貴重な経験のすべてが自分だけの物語になりました。これらの貴重な経験は、僕の一生の宝物です。本当に楽しかったです。

鳥羽の事務局のみなさんやアメリカのWaggy家ご家族のかたがた、母や祖母には本当に感謝しています。

とです。前もってエラには初盆の人や戦没者を迎えて弔う儀式であることや、今年は私の兄が初参加で太鼓を叩きながら舞を踊り、父も鐘を鳴らすことを伝え、家族みなで見に行く事にしました。始まってすぐ、エラは真剣な表情で見学し、しばらくすると涙を流していました。こんなにも綺麗な涙を流す人をはじめてみた気がしました。私は彼女の涙を決して忘れることはないと思います。

たくさん一生の思い出ができたこと、この事業に参加することで将来英語に携わる事に就くという夢がより強くなったこと、こんな素晴らしいエラと出会えたこと、サンタバーバラの自然や建物、人々の優しさを知れたことを鳥羽市のみなさんとサンタバーバラ鳥羽姉妹都市交友会、そしていつも応援してくれる家族に感謝します。ありがとうございました。